歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成30年11月　1日　　文責：校長　内野義和

小学校体育大会

１０月２５日（木）、相浦総合グラウンドで、Dブロック小学校体育大会が行われました。当日は天気にも恵まれ、午前中、ミニサッカー、ハンドボール、ドッジボールなどをしたり、午後、５０・１００ｍ走、走り幅跳び、ハードル走、的あてなどをしたりしました。

この小体会の目的は、「児童に運動することの喜びを味わわせ、交流の和を広げる」ことです。子どもたちはどの子も運動することの喜びを感じ、他の学校の子どもたちとも交流を広げました。とてもすばらしい小大会となりました。

その中で、一番成長をしたのは、６年生の竹下洋輔さんではないかと思います。Dブロック参加児童６１６人、教育委員会、中学校校長、市PTA連合会会長など来賓を前にして、児童代表のことばを述べました。原稿を見ず、堂々と述べました。開会式が終了したあと、教育委員会の方が目に涙をためて、私にこう言われました。「原稿も見ず、あれほど内容のあることを堂々と述べたことに感動しました。思わず、感動で涙が出ました。本人を大いにほめてあげてください。担任の先生の指導にも感謝します。」

私はとてもうれしくて、誇らしく思いました。実は大会の２日前の昼休みに竹下さんは校長室を訪れ、「校長先生、児童代表のことばを聞いてください」と言いました。本人はすごく緊張していました。しかし、内容がすばらしいので、感心して聞いていましたが、最後の方で、内容を忘れたようでした。緊張がピークになり、涙ぐみそうになりました。しかし竹下さんはぐっと涙をこらえ、原稿をちらっと見たあと、思い出したのか、その後しっかり言うことができました。少しぐらい間違ってもいい、もし忘れたときは原稿を見てもいい、内容がすばらしいので、そんなことは問題ではない、自信をもっていいよとアドバイスしました。そのとき、緊張がとけ、ほっとした顔をしました。私は、これで当日も大丈夫、しっかり役目を果たしてくれるだろうと確信しました。

学級に帰ったあと、担任からもクラスメートからも励まされたそうです。それも大きな励みになったと思います。原稿づくりも、暗記も、大勢の前で話さなければということも、大きな緊張となったと思います。それに打ち勝ったということは竹下さんのこれからにとって大きな自信となったと思います。

大会の次の日の朝、図書集会がありました。竹下さんは、図書委員として、全校児童にある本の紹介をしました。全く緊張は見られませんでした。逆に余裕すら感じました。やはり成長したと思いました。竹下さん、立派でした。お疲れ様。大役を果たしました。これからもっともっと活躍してください。他の６年生もこの竹下さんの苦労、努力、緊張の共有をしてほしいと思います。成長するには乗り越えることが必要です。何事にも立ち向かうことが大切です。卒業まで半年。このことも6年生にはしっかり話していきます。

これからの授業、家庭学習

本校では、今年度から「できた」「わかった」で終わる授業だけでなく、獲得した知識を使ったり生かしたりする授業にも取り組むことにしました。簡単に言うと、**発表する授業、話し合う授業、考える授業、表現する授業も多く行う**ということです。教職員の研修の中心でもあります。教職員だけに任せっぱなしではなく、管理職も行います。５年生を対象に過去の全国学力調査の問題を解かせ、その解き方、考え方を学ばせたり、普段の授業で何をどう学び、使い、生かしていくかを学ばせたりしています。

このように学校あげて取り組んでいますので、保護者の皆様も一層家庭学習を充実させていただきたいと思っております。学力の更なる向上、本物の学力向上には、「学校の力」と「家庭の力」の双方が大切です。昨年、全国学力調査で常に上位にいる秋田県に先進校視察として江頭教諭が行きました。学校では、秋田方式と言う「表現する機会が多い授業」が行われているそうです。一方、家庭では、宿題以上に自主学習も重視しているそうです。また、その宿題や自主学習に保護者が簡単なコメントを入れ、励ましているそうです。さらに、他の情報を集めてみると、秋田県は他県以上に、「早寝早起きを心がける」、「朝食をしっかり食べる」、「家庭学習の１日平均は１時間以上が８０％以上で、全国平均の６０％を超えている」のだそうです。

そこで具体的には、次のようなご家庭でのご協力がさらにほしいのです。

① 本校はテレビ視聴や、ゲームをする時間が平日でも多いという結果が出ています。特に高学年になるにつれ増えているようです。**バランスのとれたメディアとの接し方を指導**してください。**早寝早起き**にも関係してきます。

② **宿題はもちろんのこと、自主学習にも**取り組ませてください。家庭学習の時間は学年に応じて本校では次のようにしています。目安にして取り組ませてください。**低学年２０分～４０分、中学年４０分～６０分、高学年１時間以上。**

よろしくお願いします。学校と家庭がさらに協力し、子どもを伸ばしていきましょう。